

14218 ヨーロッパの歴史と文化 I History and Culture of Europe I 14148 西洋文化史 (前期分)		2 年次～ 前期 2 単位	
担当者	掛川 富康	履修可能学科	E Pe Pc C W F
		関連資格	教職・学芸 (C) 学芸 (E・Pe・Pc)
サブタイトル	西洋古代と中世の文化・社会・人間—メディアと基本用語を通して理解する—		
授業内容 ・ ねらい	西洋の古代と中世の文化 (ギリシャ・ヘレニズム・ローマ・キリスト教) の基本傾向を理解する。とくに後世への影響史を重視します。メディア (DVD・CD等) を活用し、古典的テキストと参考・基本文献を使用しながら進めます。参加者は、西洋文化 (古代・中世) に巻する基本的な知識の獲得を目指しながら、メディア等を通して得た経験を文章化することを目指してほしい。それぞれ、自由な気持ちで、自分が関心のある文化領域への関心を深め、整理しておくとう良いでしょう。 知識をうまく獲得したか否かは、レポートという、言語による表現を完成することによって検証できるものです。したがって、レポートの作成を重要視します。その指導も行います。		
授業計画	(1) 西洋文化について論じるとは—文化と文化史— —基本用語を理解する (2) 西洋古代の文化の基本傾向 ギリシャの文化(a) (3) 西洋古代の文化の基本傾向 ギリシャの文化(b) (4) 西洋古代の文化の基本傾向 ローマの文化(a) (5) 西洋古代の文化の基本傾向 ローマの文化(b) (6) 西洋古代の文化の基本傾向 ヘレニズムの文化(a) (7) 西洋古代の文化の基本傾向 ヘレニズムの文化(b)	(8) 作品鑑賞—メディアによる理解 (9) 作品鑑賞—テーマの発見 (10) 作品鑑賞—テーマの整理と表現 (11) 西洋中世の文化 キリスト教文化 (12) 西洋中世の文化 都市文化の発展 (13) 作品鑑賞—メディアによる理解 (14) 作品鑑賞—テーマの発見 (15) 作品鑑賞—テーマの整理と表現 ※ 西洋の古代・中世の世界を描いたメディア (DVD等) を活用します。映像体験を、文字で記すためには知識とその表し方が必要です。レポートの作成に向けて、指導を行います。	
教科書 参考書	参) H.I.マラー 『古代教育文化史』 (岩波書店1983年)、P.リシェ 『中世における教育と文化』 (山川出版1985年) その他。		
評価方法	レポートを2回 (5月、7月) 書いてもらいます (予定)。出席も重視します。		
事前準備学習 履修条件等	西洋史の概観の知識を何らかの方法で獲得しておいてください。その時代の文学作品・歴史書に親しんでおいてください。		